

第10回日本皮膚科心身医学会を開催して

(2019年11月17日, 大阪市中央公会堂)

羽白 誠

はしろクリニック院長

合同学会の1つとして

われわれ日本皮膚科心身医学会は、例年なら年に1回、1月末または2月初旬の日曜日に開催をしています(表)。しかし第10回は第2回日本心身医学関連学会合同集会の1つとして、2019年11月17日の日曜日に大阪市中央公会堂にて開催をいたしました(図1)。合同学会は、日本心身医学会、日本心療内科学会、日本歯科心身医学会と日本皮膚科心身医学会の4つの学会が合同で開催したものであります。開催の費用に関しては、寄付金や広告費、ランチョンセミナーなどは、手分けをして集めますが、会計は合同学会一本に絞られているため、個別の学会としての資金集めはできない状態でした。心身医学領域は寄付金や広告がなかなか集まりにくく、ランチョンセミナーも内容の決定に時間がかかりました。そのため学会としては簡素なものとなり、特別講演として外部講師を招聘してまかなり少ない謝金しかお支払いできないし、学

会員の講演や座長はすべて謝金なしといわれました。今後の事後の精算がどうなるかは未定です。われわれにいくら請求が来るか未知数で、そこが不安でした。しかし合同学会にもかかわらずのべ約1,300名の参加者があり、盛会でした。

第10回の特徴

第10回の学会の特徴としては、上述のように外部講師を招聘するとかえって失礼に当たると考えたので、謝金なしを承知のうえで、講演や座長はすべて日本皮膚科心身医学会の会員の先生にお願いを

表 歴代の学会長(敬称略)

回	会 長	開催日程	開催地
第1回	羽白 誠	2011年1月30日	大阪
第2回	上出良一	2012年2月5日	東京
第3回	檜垣祐子	2013年1月27日	東京
第4回	向井秀樹	2014年1月26日	東京
第5回	水谷 仁	2015年2月15日	鳥羽
第6回	松永佳世子	2016年1月24日	名古屋
第7回	加藤則人	2017年1月29日	京都
第8回	相原道子	2018年1月28日	横浜
第9回	鶴田大輔	2019年1月13日	大阪
第10回	羽白 誠	2019年11月17日	大阪



図1 第2回日本心身医学関連学会合同集会ポスター



図2 日本皮膚科心身医学会会場

することにいたしました。構成としては、特別講演、会長講演、教育講演とバーチャルケーススタディ、一般演題にしました。特別講演には京都府立医科大学皮膚科の加藤則人教授に「皮膚科におけるコミュニケーションスキル」のご講演を賜り、会長講演は「皮膚科における向精神薬の取り扱い方」を羽白が行い、教育講演は刈谷豊田総合病院皮膚科部長の山北高志先生に「皮膚科における交流分析」のご講演を賜りました。

バーチャルケーススタディは本学会の名物となっているプログラムであり、仮想症例について議論を会場の参加者とともに深めるセッションです。今回は3例の仮想症例について活発な議論が交わされました。ご講演や座長をお務めくださった先生方には、この場をお借りして御礼を申し上げたいと思います。

ただ今回の学会の日程が、第83回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会と重なったため、東日本の皮膚科の先生方の大部分がそちらに出席され、われわれの学会にはご参加いただけなかったことを残念に思います。11月15日～17日の合同学会としての参加者は1,300名と述べましたが、11月17日の第10回の本学会にご参加いただけたのは、約40名程度

ではなかったかと思います。通常は100名以上集まるのですが。

また本学会は日本皮膚科学会の専門医更新単位を取れる認定を受けた学会ですので、今回より新専門医制度にも対応いたしました。旧制度には以前から対応しています。旧制度の参加証をお持ちになった先生は少なく、多くの先生方がPCのカードリーダーにスキャンをされていたことから、新制度の対象の先生がずいぶん増えた感じがしました。今後も新制度に対応していきます。

今後について

今回は先述のように、本来なら1月ごろに行う学会を前年の11月に前倒しをしました。次回からはまた元の時期に戻ります。第11回は2021年1月24日の日曜日に東京の都市センターホテルにて、順天堂大学医学部皮膚科の植木理恵教授を会長として開催されます。患者さんの皮膚だけではなく、少しでもここにも寄り添い、QOL改善を目指す皮膚科医を増やすために、理事会をはじめとした役員一同で努力を日々いたしております。